

農大だより

入学式 4月7日

4月7日(木)、令和4年度入学式が挙行されました。今年度は、園芸学科野菜コース19名、花きコース4名、果樹コース9名、畜産学科7名で、昨年より9名増加の39名が入学しました。

式では、今年4月に着任した山形校長の式辞の後、平田副知事による告辞、長岡学生会長による歓迎のことは、新入生代表の鈴木さんによる入学の誓いがあり、最後に保護者代表の喜々津さんからご挨拶をいただきました。次代の本県農業の担い手たちにエールです。



式場入口を飾る桜のアレンジ



式辞(山形校長)



知事告辞(平田副知事)



歓迎のことは(長岡学生会長)



入学の誓い(新入生鈴木さん)



保護者代表挨拶(喜々津さん)



令和4年度 新入生一同

ホームページにも最新情報満載!!
URL : <http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/noudai/index.html>



読み取ると農大HPへリンクします!



読み取ると農大Twitterへリンクします!

学生総会/ポスター投票 5月9日

学生自治会総会が開催され、新年度の事業計画および予算案が承認されました。今年こそはコロナが収束に向かい、各行事を復活できることを皆期待しています。その後次年度学生募集ポスターを決める投票が行われ、下部掲載が採用されました。



新しい役員の承認



長岡学生会長の挨拶



進行する松永副会長



モデルは長岡会長と松永副会長

JA等就職説明会 5月9日

JA長崎せいひ、JAながさき県央、JA島原雲仙、JAながさき西海、佐世保食肉センター、アグリ未来長崎、大西海ファームさんに来校いただき、1年生全員と2年生のJA等就職希望者を対象に、就職説明会を開催しました。



JA長崎せいひ



JAながさき県央



JA島原雲仙



JAながさき西海



佐世保食肉センター



アグリ未来長崎、大西海ファーム

発行日 令和4年6月15日 Vol. 1
発行者 長崎県立農業大学校
所在地 〒854-0062 諫早市小船越町3171
TEL 0957-26-1016 FAX 0957-25-3871
E-mail : noudai@pref.nagasaki.lg.jp

1年生宿泊研修 4月26~27日

諫早青少年自然の家で新入生宿泊研修を実施しました。1日目は諫早消防署と西諫早分署のご指導のもと、集団訓練と救急救命講習会を、夜は各種集団ゲームで仲間意識を培いました。2日目はあいにくの濃霧で野外から屋内オリエンテーリングに変更してチーム活動を行いました。ご協力いただきました自然の家、消防署の方々に深く感謝申し上げます。



集団訓練



楽しい食事のひと時



救急救命講習(心臓マッサージ)



集団ゲーム(アシッドリバー)



屋内オリエンテーリング



球技レクレーション



最後に記念撮影「みんな仲間になりました!!」

野菜学科

井上 拓海(諫早農業高卒)
雲仙市南串山町

「良食味系ばれいしょの品種比較試験」



良食味系バレイショである「ながさき黄金」、「デジマ」、「アイノアカ」、「アイユタカ」の4品種について春作黒マルチ栽培で全体重、規格別収量、最大イモ重などを比較検討しています。



小濱 智也(北松農業高卒)
平戸市大野町

「ミニトマトの1本仕立てと2本仕立ての違いが、収量および糖度等に及ぼす影響」

ミニトマトの2本仕立ては1本仕立てと比べて種苗費の低減や定植の省力化等のメリットがあります。栽培状況の検討や経営試算を行い、就農後のミニトマト栽培に生かせるよう頑張ります。

桑田 裕大(諫早農業高卒)
諫早市多良見町

「タマネギの鶏ふんを活用した無化学肥料栽培の研究」



タマネギは年間を通じて需要が高いとても重要な指定野菜です。さらに、付加価値をつけるため、鶏ふんを活用した無化学肥料栽培にチャレンジしています。このプロジェクトを通してより良い野菜技術者を目指しています。



長岡 大紋(諫早農業高卒)
壱岐市石田町

「イチゴ3品種に対する『ムシラップ』の効果確認」

イチゴは、栽培が長期に渡るため、病害虫の防除は欠かせません。そこで、使用回数に制限がなく、ミツバチへの影響が少ない薬剤『ムシラップ』を用い、その効果検証を行っています。

東 龍兵(大村城南高卒)
大村市竹松本町

「シルバーマルチを使用したキュウリのコナジラミ防除対策」



キュウリ栽培ではコナジラミの防除が課題となっており、化学農薬だけでは防除が困難となっています。そこでシルバーマルチによる光の乱反射を利用した忌避効果について試験をしています。

卒論テーマ特集号～その1～

森田 有稀(島原工業高卒)
島原市広高野町

「セル内施肥によるハクサイの窒素減肥栽培」



セル内施肥は環境への窒素負荷低減と省力化が期待できる技術です。セルトレイの中に肥効調節型肥料を施用して育苗した苗を使って、本圃では窒素無施用で試験しています。就農後に活用できる成果が出るように頑張ります。



山崎 雅史(小浜高卒)
雲仙市広高野町

「カブの播種方法の違いが出芽率および収量等に及ぼす影響」

カブの種子は非常に小さく、出芽を揃えることが難しいため、収穫のばらつきが問題です。播種位置に土入れをする等、播種方法を工夫することで出芽の不揃いの改善ができないか検討しています。

花き学科

坂口 葵(諫早農業高卒)
諫早市多良見町

「輪ぎくの冬季栽培における二酸化炭素施用の効果」

輪ぎくの冬季栽培において、二酸化炭素施用を行うことで、開花時期や切り花品質に及ぼす効果を検証します。



松永 真奈(大村城南高卒)
大村市松原

「トルコギキョウの冬季栽培における二酸化炭素施用の効果」

トルコギキョウの冬季栽培において、二酸化炭素施用を行うことで、開花時期や切り花品質に及ぼす効果を検証します。



果樹学科

陣内 雄山(海星高卒)
長崎市淵町

「『不知火』長期貯蔵技術及び植調剤・カルシウム資材による果皮障害軽減技術の検討」



中晩柑「不知火」の単価が高い夏季出荷技術と外観が向上するよう高品質果実生産技術について取り組んでいます。将来の進路に役立つよう頑張っています。

平山 滯帆(諫早農業高卒)
諫早市真崎町

「モモの早期着果調節が果実及び作業時間に及ぼす影響」



モモの摘蕾方法を変えることで、大玉で糖度が高い果実、及び作業時間が軽減できるプロジェクトに取り組んでいます。モモ経営の夢に向かって頑張っています。

畜産学科

嵩下 空(諫早農業高卒)
諫早市小長井町

「産肉性が高い和牛短期肥育をめざして」



和牛肥育では濃厚飼料を定量摂取することが重要ですが、暑熱下では採食量が低下するため、暑熱対策等を行うとともにバイパスメチオニンを与えて良好な枝肉成績を目指します。

立石 憂那(西彼農業高卒)
西彼杵郡時津町

「間欠授乳による母乳と子豚への効果について」

子豚に母乳を飲ませない時間帯を確保し(間欠授乳)、子豚が離乳する前に発情再起させることができるか検証を行っています。またその際の子豚発育への影響についても調査しています。



本村 瑞希(島原農業高卒)
南島原市有家町

「ROAD TO ZENKYOU(完結編)」



本年度開催される第12回鹿児島全共に向けて先輩方と紡いできた活動を振り返るとともに、全共にチャレンジする私たちの取組を評価、反省し、今後の改善点を提起します。

横尾 隼己(諫早商業高卒)
諫早市森山町

「子牛育成期の飼料給与面での工夫が出荷成績に及ぼす効果」



農大では市場性の高い子牛生産を目標に子牛育成に取り組んでいます。本プロジェクトでは、育成中期(5か月齢)までの飼料給与とマニュアルを見直し、子牛の増体改善を図ります。

～農大からのお知らせ～

農大では、7月16日(土)～17日(日)に農大カレッジを開催します。たくさん的高校生に参加してもらえたらと思います。詳細は、農大教務課まで！ ☎ 0957-26-1016

農大だより

1年生農家派遣研修 5月14日～22日

農大では1年時に1週間の「農家派遣研修」を行っています。派遣先は県北・県央・県央西海事務所・島原の各振興局管内の農家や農業法人等です。初めての経験で、緊張しながら農業の最前線に送られ、現実の厳しさを体感できたと思います。



県央管内の終了式にて



西海事務所管内の終了式にて



島原管内の終了式にて

2年生海外研修 7月12～17日

2年生が、4泊5日の日程で、オーストラリアに研修に行きました。今回はコロナ禍で恒例のファームステイができず、短縮した研修となりましたが、現地で代表的な農家やフレミントンマーケットの見学などを行いました。海外での新鮮な体験は、学生たちの心に残ったことでしょう。



お城の前で記念撮影



ボンダイビーチで記念撮影



フレミントンマーケットにて



現地農家の圃場にて



街中で現地の方とのワンショット



オペラハウスを背景に記念撮影

ホームページにも最新情報満載！！
URL : <http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/noudai/index.html>
E-mail : noudai@pref.nagasaki.lg.jp

農大カレッジ

7月16日～17日

今年も1泊2日の日程で、県下高校より44名の参加を得て実施しました。1日目は希望する学科やコースに分かれて、実習を中心に体験しました。その夜は農大学生と対話する交流会も行いました。学生から農大での生活を直接聞くことができたと思います。2日目は農大研修部でトラクターとバックホウの体験試乗を行い、中にはバックホウを手慣れた操作で動かす高校生もいました。学生寮の生活も体験でき、農大を深く理解できるいい機会になったと思います。



野菜コース「このピーマン採ろうか！」



花きコース「私たちが作りました！」



果樹コース「このモモ美味そう！」



畜産学科「アイスクリーム作ってます！」



研修部「トラクター初めて乗ります！」



研修部「バックホウには自信あります！」



夜、寮での交流会「どこから来たの？」



寮で昼食「冷やし中華、うまっ！」

発行日 令和4年11月9日 Vol. 2
発行者 長崎県立農業大学校
所在地 〒854-0062 諫早市小船越町3 1 7 1
TEL 0957-26-1016 FAX 0957-25-3871

校外研修 高島体験ツアー 9月16日

今年も恒例の「九州地区農業大学校体育大会」がコロナ禍のため中止となり、一昨年、昨年に引き続き長崎市の高島にて自然体験ツアーを行いました。午前と午後で、海のシュノーケリングと飛島磯釣り公園での釣り体験をしました。昼食は野外でバーベキュー。釣ったアジも焼いて食べました。学生たちは大いにリフレッシュ出来たようです。最後には海の環境保護に関する講義も受けました。お世話いただいた「やったらうde高島」の皆さん、いい思い出をありがとうございました。



「これから海中散歩で一す！」



「中央に魚が！わかりますかぁ？」



「大きい魚、来ないかなあ！？」



「本日の釣果です！！」



「浜辺のBBQ、最高ですよ！」



「めっちゃ楽しいで一す！！」

2年生農家派遣研修 9月27日～10月27日

2年時では、1か月間の「農家派遣研修」を行っています。派遣先は1年時と同様に県内の農家や農業法人等です。長期間の派遣で、さらに農業経営の生の現場を体験でき、将来の進路に大きな糧となったと思います。



受入先の方々と（県央管内）



受入先の方々と（県央西海事務所管内）



受入先の方々と（県北管内）

野菜学科

入江 翔平 (諫早農高卒) 長崎市太田尾町

「ハウレンソウ等軟弱野菜による所得確保」

ハウレンソウ、コマツナ等の軟弱野菜を9月下旬から継続的に播種し、周年栽培を行っています。限られた農地面積の中でどれだけの所得を得ることができるか検証します。



川口 功竜 (諫早農高卒) 五島市富江町 「サツマイモの品種間比較と植え方による収量・品質への影響」



「べにはるか」、「シルクスweet」、「なると金時」の3品種でそれぞれ水平、斜め、垂直の3通りの植え方を実施し、収量・品質を比較しています。地元ではサツマイモの栽培と活用が盛んですので、この卒論プロジェクトを大事にしています。

田浦 聖流 (島原農高卒) 島原市下宮町

「秋播きニンジンにおける品種比較及び肥料試験」

ニンジンの品種「TCH711」と「紅徳」を用い、それぞれニンジン専用肥料である「らくらく人参」と汎用的な野菜の肥料である「野菜専用250」を基肥として使用し、その生育や収量について比較検討しました。



林田 勇真 (諫早農高卒) 南島原市布津町

「スイートコーンの露地栽培と施設栽培、追肥方法の違いが生育・品質に及ぼす影響」

家では露地でしか栽培したことがないので、農大では施設栽培との比較も行っています。また、追肥方法も液体肥料と固形肥料のどちらが効果的で省力的かを検証しています。



藤本 知己 (諫早農高卒) 長崎市かき道

「多収系ばれいしょの品種比較試験」

多収系ばれいしょである「ニシユタカ」、「さんじゅうまる」、「普賢丸」、「アイマサリ」の4品種について春作黒マルチ栽培で全体重、規格別収量、最大イモ重などを比較検討しています。私の栽培技術向上のためにも頑張ります。



山口 蓮 (島原農高卒) 島原市三会町

「セル内施肥によるレタスの窒素減肥栽培」

レタスが必要とする窒素肥料の全てをセル育苗培土に混合して施用するセル内施肥の試験に取り組んでいます。これにより、窒素が効率的に利用できると考えられます。環境に優しいレタスづくりにつながる試験になればと思います。



卒論テーマ特集号 ～野菜学科・果樹学科・畜産学科編～その2



山下 太一 (諫早農高卒) 佐世保市潜木町

「炭酸ガス発生条件下でのイチゴ3品種の生育・収量・品質の比較」

炭酸ガス発生条件下において、イチゴ3品種の生育・収量・品質にどのような影響があるか検証しました。各品種、株間を20cm、25cmの区を設け、株間の違いでの影響も併せて検証しました。

山本 晃裕 (諫早農高卒) 雲仙市南串山町

「年内どりレタスにおける品種比較」

レタスにおいて、気温が高い時期に生育する作型では、タケノコ球の発生等品質にばらつきがみられます。そこで「サウザー」、「インターセプト」、「ユニバースクラシック」の3品種を用い、生育や品質、収量の検証を行いました。



果樹学科



久保 彩歌里 (佐世保西高卒) 佐世保市棚方

「ブドウ害虫チャノキロアザミウマの総合的防除による被害軽減と品質向上技術の検討」

チャノキロアザミウマの被害軽減による高品質なブドウ生産の課題で取組んでいます。就職先でも役立てられるように頑張っています。

熊 晃樹 (諫早農高卒) 長崎市三原

「マンゴー「アーウィン」の花粉媒介方法と摘らい方法が果実肥大に及ぼす影響」

大玉のマンゴー果実を生産できるよう虫媒、人工授精、摘らいのプロジェクトに取り組んでいます。卒業までに、いい卒論となるように頑張りたいです。



松永 耕史郎 (諫早農高卒) 佐世保市針尾中町

「『させぼ温州』のジベレリン散布による果こう部亀裂発生軽減技術の検討」

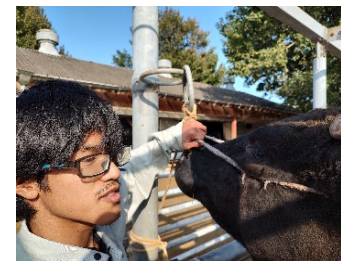
「させぼ温州」で問題となっている果こう部の亀裂を軽減するプロジェクトに取り組んでいます。卒業後は、就農するので座学や実習を通して頑張っています。

畜産学科

岩永 紅恩 (精道三川台高卒) 長崎市坂本

「ICT機器の利用で牛の状態をどれだけ把握できるか？」

近年、畜産においてもICT機器開発が進んでおり、農大でもICT機器(ファームノートカラー、牛温恵)を導入しています。本プロジェクトでは、各機器におけるモニタリングデータの蓄積と利用法の整理を行っています。



成瀬 真希 (西彼農高卒) 長崎市長浦町

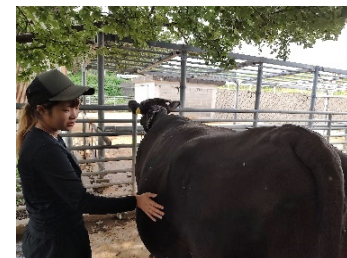
「肥育豚における廃棄果実を使った体温・体重の変化について」

豚の濃厚飼料の給与法を飽食から制限給餌に替え、そこに酸味のある廃棄果実(みかん、レモン)を冷凍して給与することで暑熱対策にならないか考え、肥育豚への発育に及ぼす影響を調査しています。

雪竹 琴音 (諫早農高卒) 諫早市久山台

「黒毛和種母牛の分娩前栄養状態と繁殖成績について」

和牛繁殖では、母牛の分娩間隔を短縮し、子牛生産率を高めることが重要です。今回は、分娩前の母牛の栄養状態に着目し、増飼いを行った際の母牛栄養状態と分娩後の繁殖成績との関係について調査しています。



～農大入学試験の案内～

出願資格 高等学校を令和5年3月卒業見込の者。
又は、これと同等以上の学力を有すると知事が認めた者。 年齢制限はありません。

1次募集

出願期間 令和4年10月28日(金)～11月18日(金)

試験日時 令和4年12月 2日(金) 9～15時

試験科目 (必須) 国語総合、数学Ⅰ

(選択) 化学基礎、生物基礎、農業から1科目

※農業は、園芸、畜産 どちらか選択

集団討論、個人面接

2次募集 ※充足次第では実施しない場合もあります。

出願期間 令和5年 2月 9日(木)～ 2月22日(水)

試験日時 令和5年 3月 3日(金) 9～15時

試験科目 (必須) 小論文(800字程度)、数学Ⅰ

集団討論、個人面接

●出願は、住所を管轄する各振興局農林部が窓口です。

お問い合わせは農業大学校教務課へ

電話;0957-26-1016